

インドネシア共和国
多種類種苗生産技術開発計画
終了時評価報告書

平成12年4月

国際協力事業団
森林・自然環境協力部

序 文

国際協力事業団は、インドネシア政府からの技術協力の要請を受け、インドネシア多種類種苗生産技術開発計画を1994（平成6）年4月から5年間にわたり実施してきました。

当事業団は、本計画の協力実績の把握や協力効果の測定を行うとともに、今後両国がとるべき措置を両国政府に勧告することを目的として、1998（平成10）年10月18日から10月31日まで、社団法人日本栽培漁業協会五島事業場長 丸山敬悟氏を団長とする評価調査団をインドネシアに派遣しました。

調査団は、インドネシア政府関係者と共同で本計画の評価を行うとともに、プロジェクト・サイトでの現地調査を実施し、成果の確認を行いました。そして帰国後の国内作業を経て調査結果を本報告書に取りまとめました。

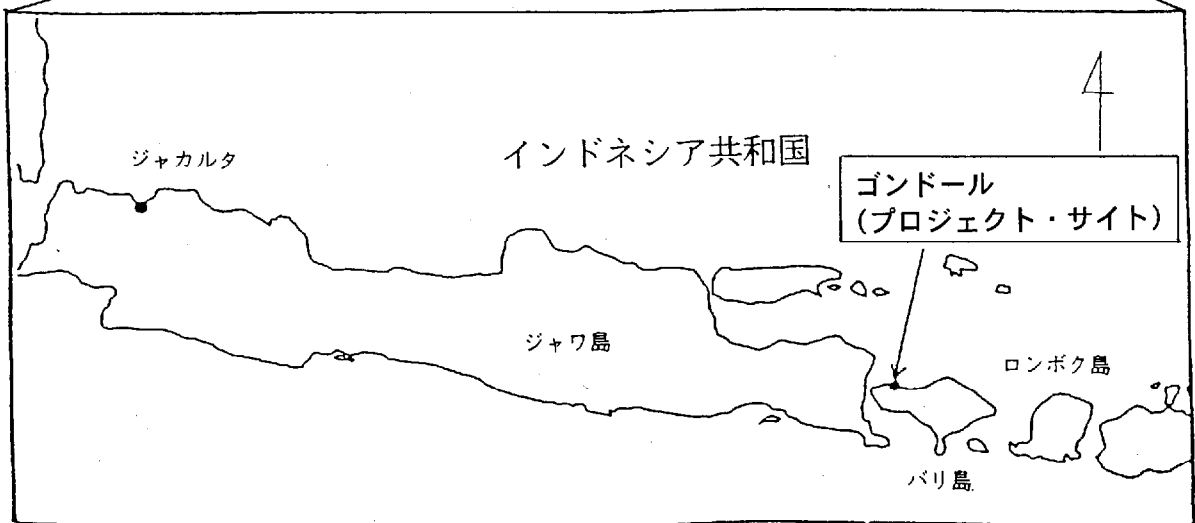
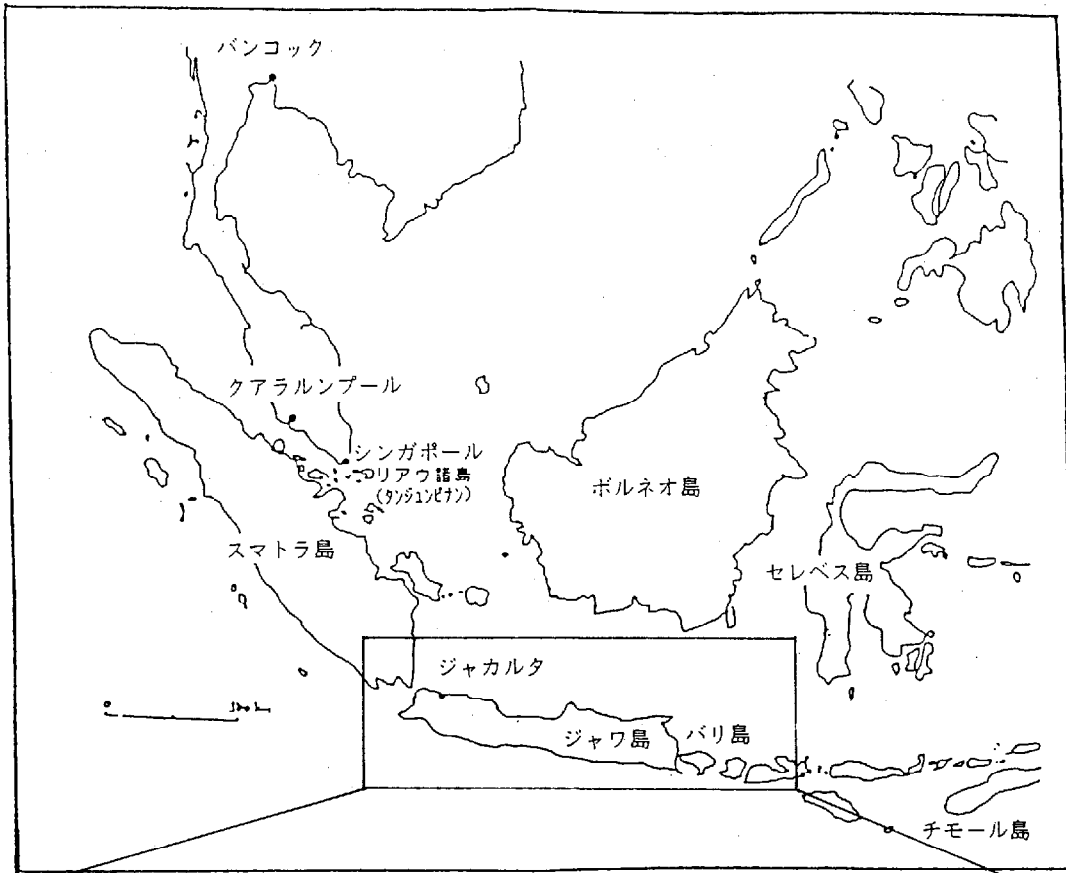
この報告書が、本計画の今後の協力のさらなる発展のための指針になるとともに、本計画によって達成された成果がインドネシアの発展に資することを期待します。

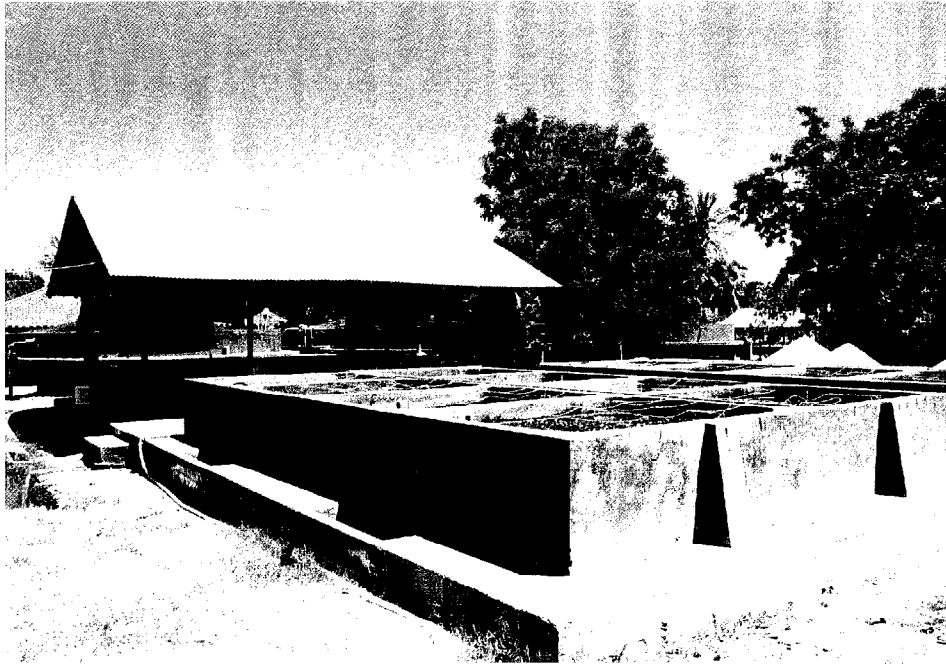
終わりに、プロジェクトの実施にご協力とご支援をくださった両国関係者の皆様に対し、心から感謝の意を表します。

平成12年4月

国際協力事業団
理事 後藤 洋

プロジェクト・サイト位置図

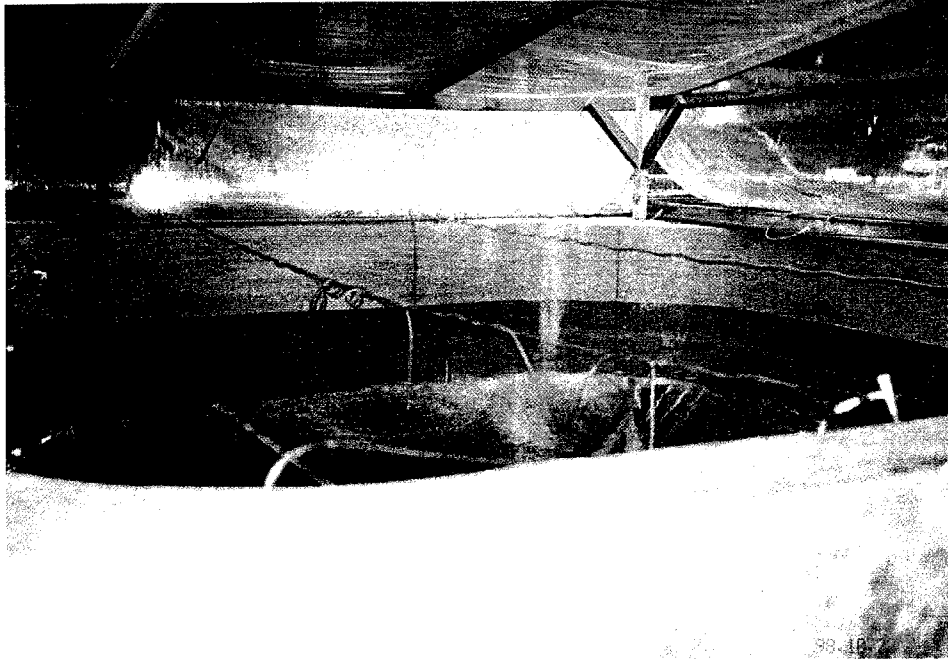




バックヤードハッチェリー全景
(ゴンドール研究所内のパイロットバックヤードハッチェリー)



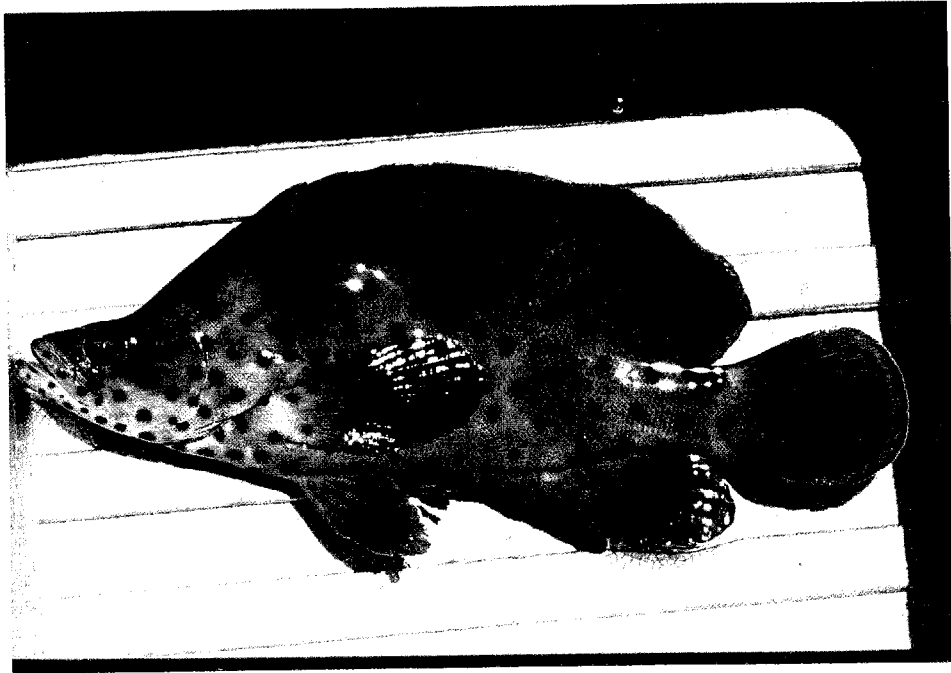
プランクトン培養槽
(同バックヤードハッチェリーの一部分)



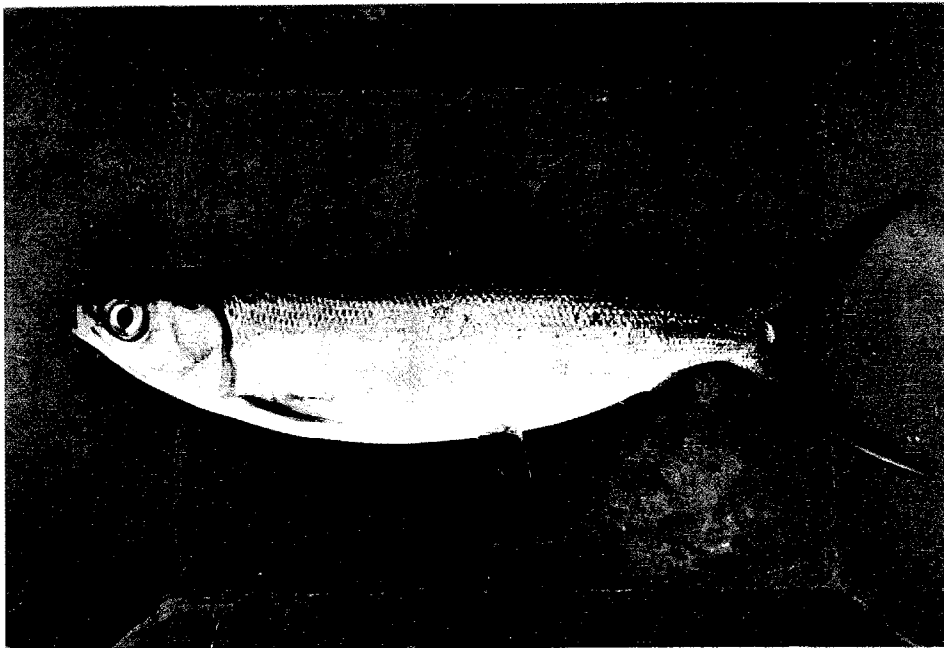
仔魚育成槽
(前ページバックヤードハッチェリーの一部分)



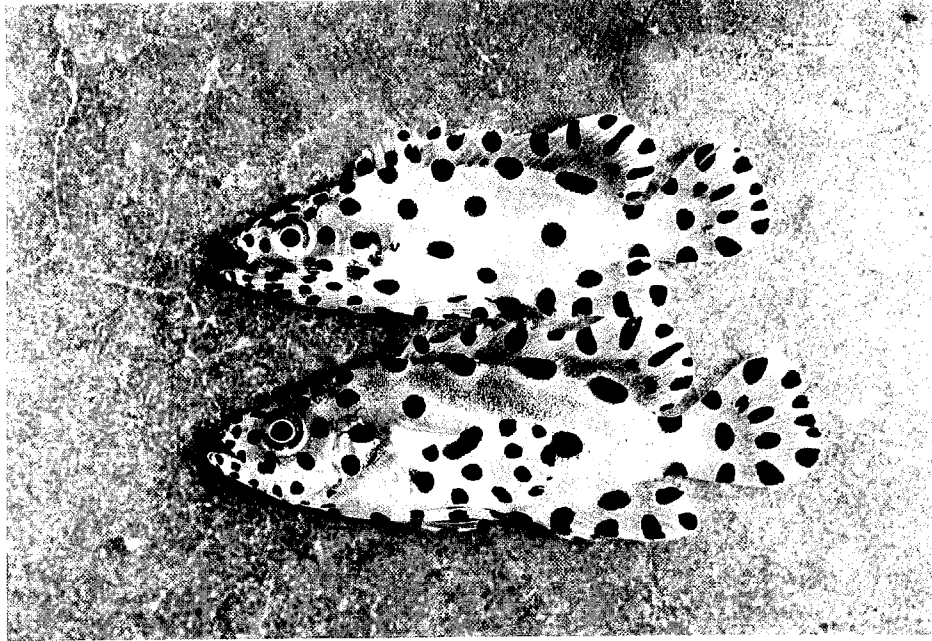
民間バックヤードハッチェリー
(ミルクフィッシュの大規模バックヤードハッチェリー)



サラサハタ (*Cromileptes altivelis*)



ミルクフィッシュ (*Chanos chanos*)



サラサハタ稚魚 (*Cromileptes altivelis*)



ミニッツ署名
(左は Fuad Cholik インドネシア側調査チーム長、右は調査団丸山敬悟団長)

目 次

序文

プロジェクト・サイト位置図

写真

第1章 終了時評価調査団の派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	2
第2章 協力実施の経過	4
2 - 1 相手国の要請内容と背景	4
2 - 2 暫定実施計画（TSI）および実施計画	4
2 - 3 協力実施プロセス	5
第3章 目標達成度	6
3 - 1 上位計画との整合性	6
3 - 2 案件目的の達成状況	6
3 - 3 アウトプット目標の達成状況	6
3 - 4 インプット目標の達成状況	18
第4章 案件の効果	19
4 - 1 案件の効果	19
4 - 2 効果の広がりと受益者の範囲	20
第5章 自立発展の見通し	21
5 - 1 組織的自立発展の見通し	21
5 - 2 技術的自立発展の見通し	21
5 - 3 財務的自立発展の見通し	24

第6章	フォローアップの必要性	25
6-1	協力期間延長の要否	25
6-2	フォローアップの内容と方法	25
第7章	団長総括	28
7-1	評価の総括	28
7-2	とるべき措置	29
7-3	提言	30
資料		
1	討議議事録 (R/D)	33
2	暫定実施計画 (TSI)	49
3	第1回合同委員会議事録 (計画打合せ調査時)	57
4	普及活動にかかる覚書	85
5	第5回合同委員会議事録 (合同評価レポート)	89
6	投入実績一覧表	117
7	供与機材リスト	123
8	終了時評価調査表	131